



—豊かな未来のために— 野村ACI先進医療インパクト投資 ～足元の運用経過と注目点～

ポイント



1. 足元の運用経過について
2. 注目の決算発表銘柄とM&Aの動向
(ご参考) ストワーズ医学研究所主催 コロナワクチンセミナー

1. 足元の運用経過について

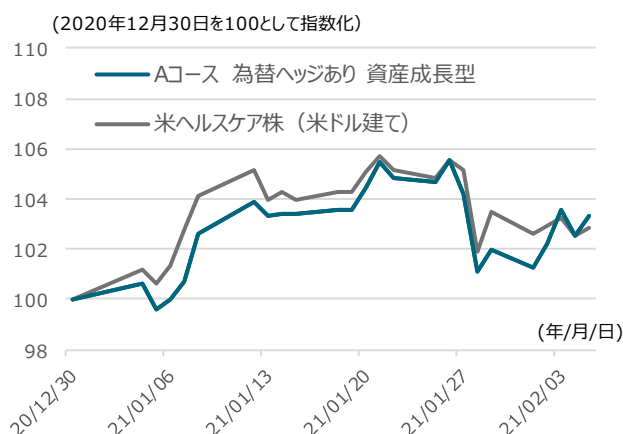
2021年のファンドのパフォーマンスを見ますと、年初は景気刺激策への期待感から上昇して始まり、その後も、利用者の急増を発表した遠隔医療関連銘柄や新薬開発期待の高まったバイオテクノロジー銘柄がけん引し、堅調に推移しました。1月末には一部投資家の投機的な売買が嫌気され下落に転じる場面もありましたが、足元再び回復基調にあります。

注目の決算動向ですが、米ヘルスケア企業の業績は総じて好調なものでした。2月5日発表時点で、2020年10-12月期および2020年通年で米国主要企業が厳しい業績となるなか、米ヘルスケア主要企業はそれぞれ+13%、+11%の増益となりました。一般にヘルスケア企業の業績は景気動向の影響を受けにくいとされますが、コロナ禍でも同特徴が確認されています。

次頁では、ヘルスケア企業に関して足元注目されている動きを紹介いたします。

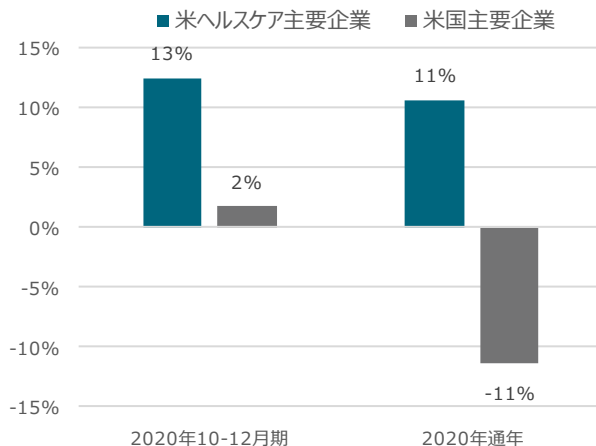
2021年初来の基準価額（分配金再投資）の推移

期間：2020年12月30日～2021年2月5日、日次



米ヘルスケア主要企業の増益率

期間：2020年10月～12月期、2020年通年



(出所) Bloombergデータおよび2月5日付のFactsetのレポートを基に野村アセットマネジメント作成。基準価額（分配金再投資）については5ページをご参照ください。
米ヘルスケア株（米ドル建て）はS&P500ヘルスケア株価指数（配当込み）を用い、ファンドの市場反映タイミングにあわせて算出しています。当該指数はファンドのベンチマークではありません。
米ヘルスケア主要企業：S&P500ヘルスケア株価指数構成銘柄、米国主要企業：S&P500株価指数構成銘柄。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2. 注目の決算発表銘柄とM&Aの動向

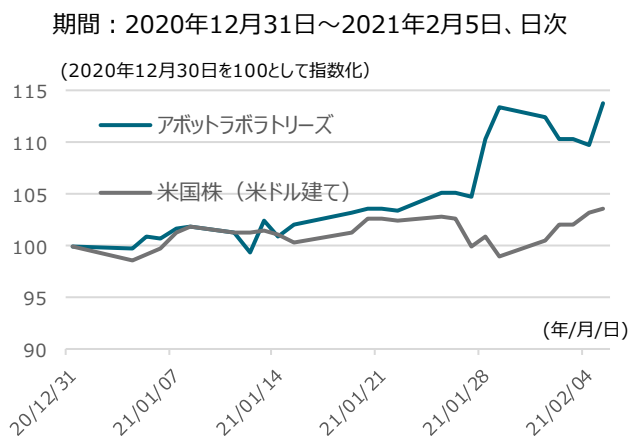
注目の決算発表銘柄：アボットラボラトリーズ

1月27日に、米総合ヘルスケア企業のアボットラボラトリーズ社が2020年10-12月期の決算発表を行ない、市場予想を上回る増収増益であったことを発表しました。一部事業はコロナ禍で需要が低迷したものの、在宅環境でも利用できる糖尿病患者向け自己モニタリング機器「フリースタイル・リブレ」の好調な売り上げが下支え要因となりました。そして収益を最も押し上げたのが、新型コロナウイルス（以下コロナ）検査機器です。同社はコロナ感染拡大初期から検査機器の開発を進め、2020年8月末には「BinaxNOW」と呼ばれる低コストかつ高品質な検査機器の当局承認を得ました。同社は10-12月期のみで3億台ものコロナ検査機器を出荷し、売上高は24億米ドルにのびました。今後に関しても、既存事業の需要回復を背景に、同社は堅調な業績の推移を見込んでいます。

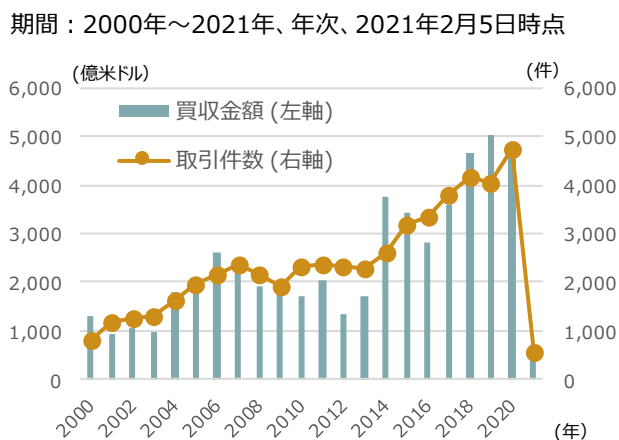
次の『成長の種』を求めて、活発な動きが続くヘルスケア業界のM&A

米医療保険大手のユナイテッドヘルスは、1月にヘルスケアテクノロジー企業を約80億米ドルで買収すると発表しました。医療関連データの分析拡充が目的で、買収規模は同社史上最大級となります。同社に限らず、ヘルスケア業界のM&A（企業の合併・買収）は活況です。2020年のヘルスケア企業を対象としたM&Aは、取引件数で過去最大、買収金額ベースでも過去最大級となりました。技術革新著しいヘルスケア業界では、ヘルスケアとテクノロジーが融合した最先端医療分野や、有力な新薬候補など、成長の種を求めて大規模なM&Aが相次いで行なわれています。依然として、一部の大手企業は多額の買収資金を留保しており、今後もM&Aが相次ぐと期待されています。

アボットラボラトリーズの
2021年初来の株価の推移



ヘルスケア企業を対象とした
M&Aの取引件数と買収金額の推移



(出所) Bloombergを基に野村アセットマネジメント作成。米国株：S&P500株価指数、右図は、医薬品、バイオテクノロジー、ヘルスケア製品、ヘルスケア・サービス関連銘柄を対象とした、進行中または完了したM&A案件を発表日ベースで集計。2021年は、2021年2月5日までの集計値。上記は、ファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(ご参考) ストワーズ医学研究所主催 コロナワクチンセミナー

ストワーズ医学研究所のご紹介

当ファンドの実質的な運用を行なうACI社のユニークな点の1つが、ストワーズ医学研究所の存在です。同研究所はACI創業者のストワーズ氏と彼の妻により建てられ、現在もACIは利益の40%以上を配当として同研究所に提供しています。一般に製薬企業ですと商品化に向けた新薬開発が重視されがちですが、同研究所では新薬開発の原点である基礎研究に重きが置かれており、これは非営利団体ながら安定した研究資金を有する同研究所ならではの特徴です。

4月には、コロナ終息の兆しを確認できる可能性も

コロナワクチンに関しても、同研究所で直接的な開発は行なわれていませんが、その背景にある学術的な議論が交わされています。こうした議論を踏まえ、同研究所のアレハンドロ・サンチェス・アルバラド博士（エグゼクティブディレクター兼最高科学責任者）による、コロナワクチンの開発過程と今後の見通しに関するセミナーが、1月26日に開催されました。今後の見通しの注目点は下記となります。

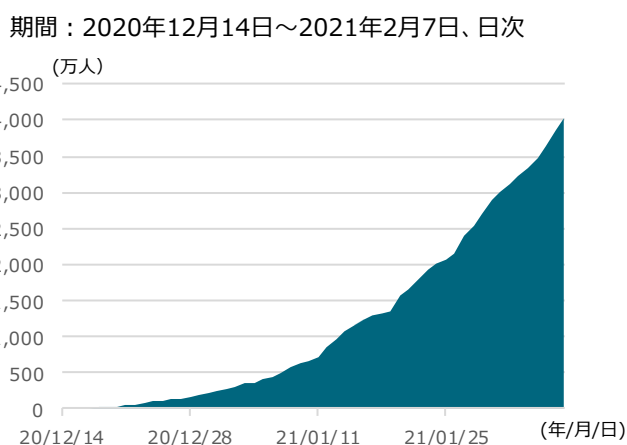
- ・1月22日時点で、米国内で約6,200万人がコロナに感染したと推定される。（公表人数は、同水準より低い値ですが、無症状等の理由で検査を受けていない人も含みます。）
 - ・1月24日時点で、米国内で約1,850万人がワクチンを接種した。また、既に4,100万回分のワクチンが配布されている。
 - ・このままワクチンの接種が進めば、2月末には約6,000万人が接種を終える可能性がある。コロナ感染経験者と合算し、3月上旬には米国人口の1/3超にあたる1億2,000万人が免疫を有する。
- こうした予測を踏まえ、同博士は「4月にはコロナ終息の兆しを確認できる可能性もある」と説明しています。引き続き予断を許さない状況ですが、一刻も早いコロナの終息を願うものです。

ストワーズ医学研究所



(出所) Bloombergおよび各種資料を基に野村アセットマネジメント作成。

米国内のコロナワクチン投与数の推移



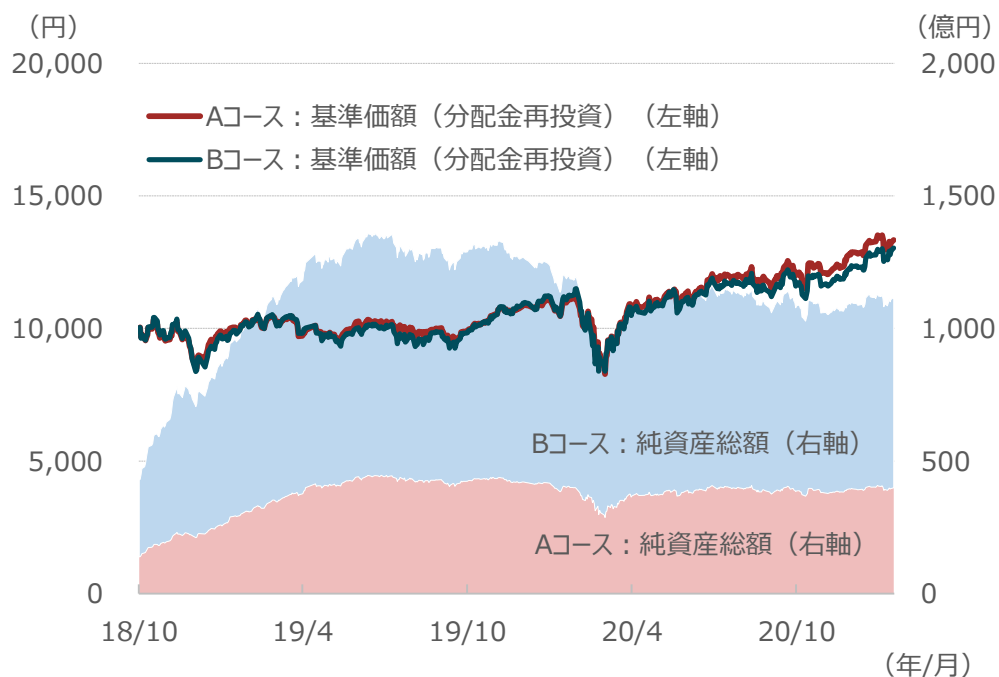
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当レポート3ページに記載された見解は、アレハンドロ・サンチェス・アルバラド博士（ストワーズ医学研究所のエグゼクティブディレクター兼最高科学責任者）の見解であり、情報提供のみを目的としています。信頼できると思われる情報源から情報を入手していますが、その正確性は保証されません。Sánchez AlvaradoならびにAmerican Centuryは、当情報に基づく正確性、信頼性、完全性、または責任について、いかなる表明または保証を行わず、当情報に基づいて下された判断に責任を負いません。

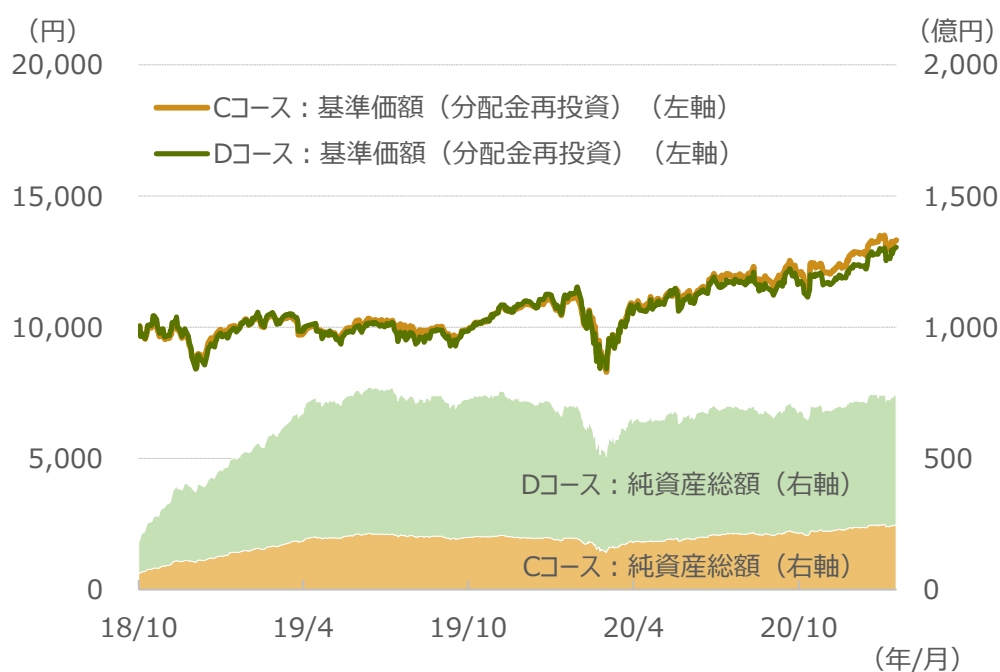
- S&P500株価指数、S&P500ヘルスケア株価指数は、スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シーの所有する登録商標です。

ファンドの運用状況 期間：2018年10月23日（設定日）～2021年2月8日、日次

<Aコース/Bコース> 基準価額（分配金再投資）と純資産総額の推移



<Cコース/Dコース> 基準価額（分配金再投資）と純資産総額の推移

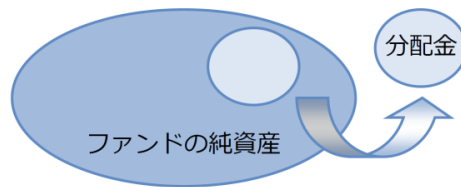


基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



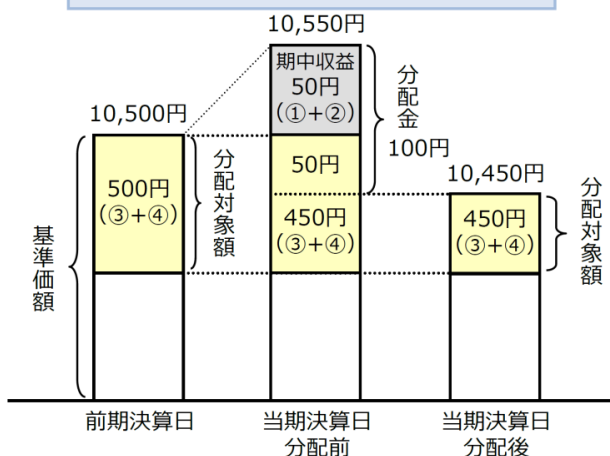
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

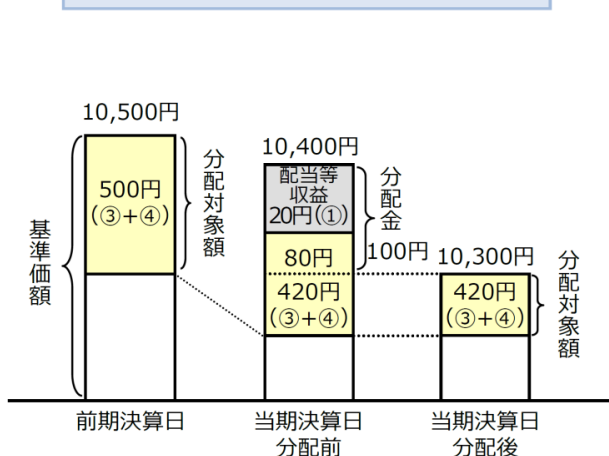
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

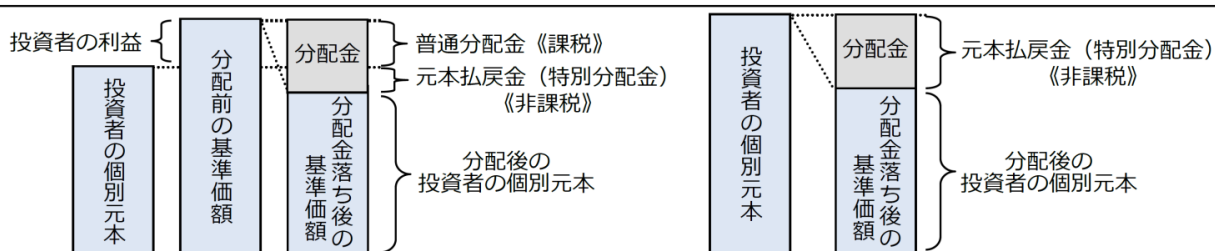


前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金） … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

【ファンドの特色】

- 世界各国(新興国を含みます。)の先進医療関連企業※1の株式(DR(預託証券)※2を含みます。)を実質的な主要投資対象※3とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。

※1 ファンドにおいて、「先進医療関連企業」とは、製薬、バイオテクノロジー、医療機器、医療・健康サービス関連企業等のうち、先進的な技術の発見・開発や、先進的な医療サービスの提供に寄与するもしくはその恩恵を受けると考えられる企業等のことをいいます。

※2 Depository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。

※3 「実質的な主要投資対象」とは、「野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

- 野村ACI先進医療インパクト投資は、分配頻度、為替ヘッジ有無の異なる4つのコース(Aコース、Bコース、Cコース、Dコース)から構成されています。

	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
年2回分配(資産成長型)	Aコース	Bコース
毎月分配(予想分配金提示型)	Cコース	Dコース

- 株式への投資にあたっては、インパクト投資※1およびESG※2の観点を考慮することを基本とします。

※1 インパクト投資とは、投資を行なう際に経済的なリターンに加え、社会に有益な影響(インパクト)を与えることを意図して行なわれる投資行動です。

※2 ESGとは、Environment(環境)、Social(社会)およびCorporate Governance(企業統治)の総称です。

- 組入銘柄の選定にあたっては、企業収益の成長加速度、財務状況や業績、株価割安性等に着目した分析で上位に位置する銘柄に対し、個別銘柄ごとに綿密にインパクト投資およびESGの観点も加えたファンダメンタルズ分析を行ないます。

◆リスク特性、銘柄分散等を勘案してポートフォリオを構築します。

- 株式の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。

- 「Aコース」「Cコース」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース」「Dコース」は原則として為替ヘッジを行ないません。

- ファンドは「野村ACI先進医療インパクト投資 マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。

- 「Aコース」「Bコース」間および「Cコース」「Dコース」間でスイッチングができます。

- マザーファンドの運用にあたっては、アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インクに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

- 分配の方針

◆Aコース、Bコース

原則、毎年6月および12月の19日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

◆Cコース、Dコース

原則、毎月19日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

なお、決算期末の前営業日の基準価額(1万口あたり。支払済みの分配金累計額は加算しません。)が11,000円以上の場合には、分配対象額の範囲内で、別に定める金額の分配(注)を行なうことを目指します。

(注)決算期末の前営業日の基準価額に応じて、下記の金額の分配を行なうことを目指します。

決算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口あたり、課税前)
11,000円未満	配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して決定します。
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

* 基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額が上記表に記載された基準価額水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。

* 分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

* 決算期末にかけて基準価額が急激に変動した場合等には、委託会社の判断で上記表とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。

* 上記表に記載された基準価額および分配金額は、将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

「野村ACI先進医療インパクト投資」

【投資リスク】

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2028年12月19日まで(2018年10月23日設定)
- 決算日および収益分配 「Aコース」「Bコース」: 年2回の決算時(原則、6月および12月の19日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
「Cコース」「Dコース」: 年12回の決算時(原則、毎月19日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位 (ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。) ※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間、「Cコース」「Dコース」間でスイッチングが可能です。 ※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ニューヨークの銀行 ・ニューヨーク証券取引所
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2021年2月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 * 詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.815%(税抜年1.65%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは

野村証券

商号: 野村証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
 加入協会: 日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 /
 一般社団法人金融先物取引業協会 /
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号: 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会 /
 一般社団法人日本投資顧問業協会 /
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先: 野村アセットマネジメント株式会社

● サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時~午後5時

● ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。